

須賀川市倫理法人会モーニングセミナー

病気は生活の赤信号「疾病信号」

須賀川市倫理法人会モーニングセミナーにお招き頂きありがとうございます。

福島県倫理法人会
相談役 三瓶 利正

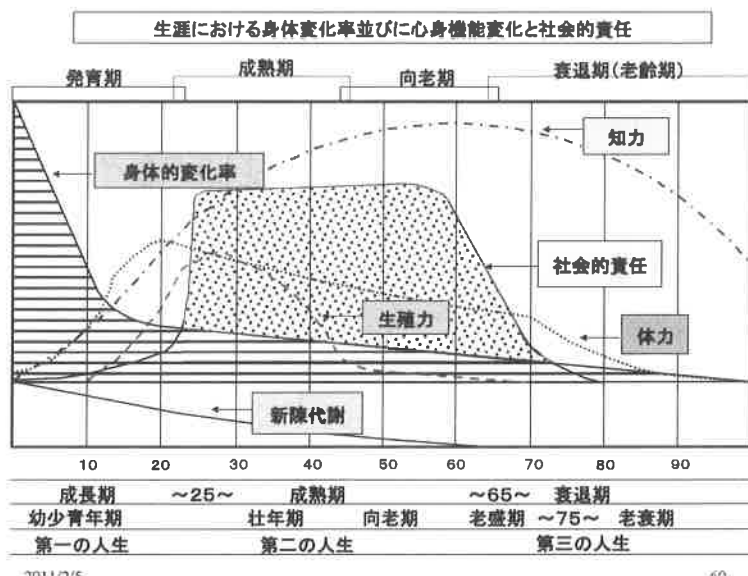
1. 自己紹介

- (1) 生年月日: 昭和 23 年 1 月 1 日 郡山市生まれ。71 歳
- (2) 職業: (株)シー・ティー・シー 取締役、(株)WE POWER 取締役 三瓶利正総合技術研究所所長、他農業
- (3) 倫理歴: 14 年目、県相談役
- (4) 仕事: 新会社と新事業(ハイブリット街路灯及び省エネ機器)立上中。

2. 演題

「病気は生活の赤信号」

(1) 体力と知力



・体力・知力を持ち合わせながら、社会的責任に合わせ衰退してしまう。
 ・助けられている命、第三の人生を良い生き方で生きたい。「積善・積徳」

・健康破壊の時代
 体は壊れてから治すのは時間がかかる。ケアをしながら上手に生きる。医者に任せにしない。自分で守る。全てを受け入れ明るく生きる。

- (2) 平成 10 年 肺に5cmの腫瘍が見つかる。(現在10cm)病気は生活の赤信号。
仕事の事情で休めず、環境が受け入れるしかない。
- (3) 人生の後半ぐらいハイ分りましたで生きてみよう。(腫瘍の原因: 生き方→正義の^{なきな}長刀)
- (4) 同級生の肺癌及び妻の弟の妻の子宮頸がんを助ける。
- (5) すべて試されごとではないか。精一杯やっていると助けられているのがわかる。
- (6) 家柄の貸借対象表。倫理指導 実践
- (7) 後任の育成、頭で考えても何も変わらない。肚を決めれば自分が変わり周りが変わる。
OUTOプットは、背中に何を背負うかで決まる。
- (8) 倫理実践
 - ① 万人幸福の葉: 好きなところ P9、純情 後ろから 5 行目 「ふんわりとやわらかで、何のこだわりもなく 不足もなく、澄みきった張りきった心、これを持ちつづけることであります」。
 - ② P53 一番気にしているところ: 肉体は精神の象徴、病気は生活の赤信号。
 - ③ 気付いたらすぐする(即行の実践)、祈り、清掃、墓参り、どうにもならなかったら自分を捨てる、
「ハイわかりました」の世界は素晴らしい・・・勇気が要りますけどこれがわが人生。肚を決め生きる 助かった命、世のため人のために生きる「積善・積徳」。

以上

ご清聴ありがとうございました。